

令和2年度



新紺屋小学校だより

甲府市立新紺屋小学校
校長室：小田切 利幸
〒400-0016
甲府市武田1-3-34
Tel:252-2578
<http://www.shinkonya-ekofu-ymn.ed.jp/>



17日間の冬休みが終わり、1月12日より三学期が始まりました。三学期は50日(6年は49日)となります。相変わらず、コロナウィルスの猛威は収まる気配もなく、学校生活にも大いなる影響が及んでいます。今後も子どもたちの生命の安全を最優先にして取り組んでいきたいと思ひます。制限のある生活で、児童にも保護者の皆様にもご不便をおかけいたしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

毎学期の始業式に校長として、「学期の目標」について話しています。三学期の目標を「新学年をたのしいものにするために」としました。具体的な取組として、①新学年に向けてまとめをしっかりとる ②「コロナ」が収まって、安心して新学年が通常を迎えられるように、今は感染対策をしっかりと行動を自粛しよう ③あいさつをしっかりとしよう の3つを掲げました。特に③のあいさつについては、重点課題として、職員全員で取り組んでいくように共通確認をしました。ご家庭のご支援もお願いいたします。

コロナ禍に対応した三学期の行事について

1. 授業参観・学年PTA総会

今年度は学年で集まる機会がもてないこととなりますが、多くの方が集まるとの会議は見送りたいと思ひます。学年の活動報告や会計報告等につきましては、書面提案とさせていただきます。2月26日に全学年一斉に配布する予定です。

2. 六年生を送る会

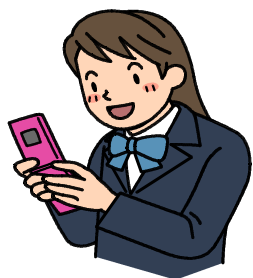
テレビ放送を活用し、各教室から六年生に感謝の気持ちを伝える形式とし、児童のみで実施したいと思ひます。

3. 卒業証書授与式

昨年度の卒業式同様、市内全部の学校で、6年生および保護者のみで、時間短縮・内容精選を行った形で実施することとなっています。現在詳細については検討中ですので、内容が決まりましたら6年生の保護者の皆様に通知を配布させていただきます。

(5年生は参加いたしません)

学校安心メールへのご登録を



現在甲府市内の小中学校では、「まもるメール」によるメールの配信を行っております。しかし、「まもるメール」による配信は令和2年度末をもって終了となります。新年度からは、「学校安心メール」に変更となります。システムの変更に伴い、新たにシステムへの登録が必要となります。現在の1年生から5年生につきましては、システムへの登録およびテスト配信等の関係から、今年度中にご登録していただきます。「まもるメール」同様、学校からの連絡は「学校安心メール」による配信を行いますので、全ご家庭のご登録をお願いいたします。詳細につきましては、**1月26日付「新紺屋小安心メールのお知らせと新規登録のご案内」**をご参照の上、ご登録をお願いいたします。なお、現在六年生につきましては、進学先の指示に従ってご対応をお願いいたします。

(北東中進学者については4月1～3日に、北東中の指示により登録することとなります。)

GIGAスクール構想

すでにご存じの方も多いと思いますが、現在、文科省では「GIGAスクール構想」として、一人一台端末と、高速大容量の通信ネットワークの早期導入に向けて取組を推進しています。

GIGAスクール構想とは

- 一人一台端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備することで、特別な支援を要する子供を含め、多様な子供たちを誰一人取り残すことなく、公正に個別最適化され、資質・能力が一層確実に育成できる教育ICT環境を実現する。
- これまでの我が国の教育実践と最先端のICTのベストミックスを図ることにより、教師・児童・生徒の力を最大限に引き出す
(文科省資料引用より)

今後の教育活動は、”一人一台”を活用した教科の学びが行われる場面が想定され、学びの場の大きな変容が想定されます。具体的な活用方法については今後の課題ですが、近い将来、学び方の変化への対応および情報機器の活用は必須となります。我々教師も日常的に研修の場が設けられ、資質向上に取り組んでいます。

こうした背景を受け新紺屋小学校では、ICT機器に関する児童の実態調査を行いました。ICT機器の活用は大切ですが使用方法を間違えると、トラブルに巻き込まれたりするおそれがあります。まずは、学校と家庭が子どもたちのICT環境の実態を知り、適切に対応していきたいと思えます。

以下に調査の一部をお知らせします。お子さんとのルールづくり等にご活用ください。

	機器の保有状況 (%)				注1			利用の多いもの (%)			注2		長時間使用 (%)	
	スマホ	タブレット	PC	ゲーム機	YOUTUBE	ゲーム	学習	平日2時間以上	休日3時間以上					
1年	11.1	18.5	3.7	33.3	37.0	59.3	14.8	15.4	24.0					
2年	18.5	25.9	0	59.3	29.6	66.7	25.9	11.1	28.0					
3年	5.0	40.0	10.0	30.0	30.0	60.0	30.0	6.7	46.7					
4年	25.0	35.7	10.7	60.7	39.3	46.4	17.9	14.3	39.3					
5年	20.0	52.0	12.0	80.0	52.0	68.0	8.0	40.0	66.7					
6年	32.1	39.3	7.1	71.4	67.9	75.0	3.6	51.7	81.5					
全校	19.4	34.8	7.1	56.8	43.2	62.6	16.1	24.7	47.9					

注1：各学年ごと、学年の児童数に対する割合を示しています。

注2：親の機器を活用しての利用も含まれます。

【考察】

- ゲーム機の保有率が高いことがうかがわれます。多くの友達が保有している状況もあるので、自分だけ持たないというのは難しいと思いますが、利用の約束をきちんと決めて利用することが必要だと思います。
- 学年があがるにつれて利用時間が長いという傾向が表れています。「学習」に活用している人もいますので時間が長いからといってすぐに悪い、ということには結びつかない面もありますが、必要以上に利用することは望ましくありませんので、利用内容を確認していただいたり、使用時間を決めて利用させるなど、家庭でのルールづくりが必要だと思われます。
- オンラインで交流する人について聞いた設問があります。その中で「知らない人と交流している」と答えた児童が5名存在しました。知らない人との不用意な交流は、トラブルに巻き込まれたり、いやな思いもする場合がありますので十分な注意が必要です。
- 自由記述の中には、「ネット上で暴言を吐かれた」とか、「性的な描写や不快な宣伝が目に入ったりする」といった困った事案もあげられています。使用に際しては、「フィルタリングを活用する」、「どういったサイトを子供が利用しているか親が把握する」、「ゲーム等に課金したりしていないか」、「トラブルに巻き込まれていないか」、等々、日頃からお子さんの様子を把握するようご配慮をお願いいたします。